



## 次のステップへ向かって

二月も末となり、朝晩の冷え込みはまだ厳しいですが、日中は太陽も高く上り、陽射しには暖かさを感じるようになりました。着実に春が近づいてきている今日この頃です。

本校の全校朝会には、全校児童と校長が挨拶をする場面があります。全校児童の挨拶をリードするのは、1年生から6年生の代表の子1名〔輪番制〕です。

2月12日のことです。その日は、3連休明けの学校だったからでしょうか。朝会が始まる前の子ども達は少し元気のない様子でした。ところが、全校児童と校長が挨拶をする場面では、雰囲気が一変したのです。いったい、何が起ったのでしょうか。

挨拶代表の子が「姿勢を正してください。」とはっきりした口調で言いました。その声に、「はいっ。」と元気よい児童の返事がありました。すると、全校児童が背筋をびんと伸ばし、凛とした表情に変わりました。そして、「おはようございます。」ととてもいい挨拶ができたのです。返事「はい。」が子ども達を変えた瞬間でした。たった2文字なのに・・・。

改めてことばの力凄さを実感しました。「いいことばが自分にとっても周りにとってもいい影響を与えること。」更にことばを大事にしていきたいです。

先週の金曜日のことです。4時間目に各教室を回りました。1年生は、道徳でした。先生の話をよく聞いて考える、そして思ったことをワークシートに書く学習をしていました。「どうぞ」の先生の声に、1年生全員が一斉に鉛筆を走らせていました。2年生は、ピアノで校歌を弾いていました。全員で演奏すると、しっかりそろっていました。速さがバラバラにならないのは、一人一人がしっかり演奏できているということです。1・2年生は、一人一人がしっかりと力をつけていると感じました。

友達と関わりながら学習を進めているのが3・4年生でした。3年生は、定規やコンパスを使って二等辺三角形を描くことに挑戦していました。困っている子は、友達に助けを求めたり、自分で何度も書き直したり粘り強く学習を進めていました。4年生は、数学者ガウスについて学習していました。その後、机を合わせて話し合いながら課題解決をしようとするグループと自分で追求するグループに分かれて問題に取り組んでいました。どちらも、学習に関わる友達との活発なコミュニケーションがとても印象的でした。

5・6年生は、今、次の段階へ向かう意識を高めながら学習に取り組んでいます。5年生は、児童会の立会演説会、卒業式への歌練習、あるいは、門出の歌の器楽演奏など、全校をリードしていく活動が多くなりました。そのことを通して、次は自分達が全校をリードしていく立場にあることへの自覚を高めています。2月6日に中学校での一日入学を体験した6年生は、次の日から挨拶や掃除の場面での変化が特に見られました。今まで以上に集中して学習に取り組む姿から「小学校を卒業。中学校へ入学。」の意識の高まりを感じます。

6年生は卒業式まで登校日12日。また、1～5年生は、修了式まで15日となりました。登校日は残り少ないですが、次の学年に向かう意識が高まるこの時期はぐぐっと子ども達が成長する時期でもあります。とても楽しみです。

